

2024  
VOL.106  
January

1

# Cheers!

なでしこチアーズ

## 激動の一年から飛躍の年へ！ 救急医療体制構築への挑戦

Cover&Interview — 院長 本間照／看護部長 佐藤志津子／事務部長 阿部健博



Contents

紹介患者さん「完全予約制」の導入

「医療の広場RADIO

〜病院スペシャル〜」に出演します!!

「ご当地タニタごはんコンテスト」

全国大会に出場

新潟日報主催

「福祉・介護・健康フェア」に出展参加

入院患者さんにアンケート

病院の満足度について

認定看護師から

プレコンセプションケアのこと

今月のレシピ 豆腐でホワイトソース!

お餅のグラタン

登録医訪問 西新潟ほんだ内科クリニック

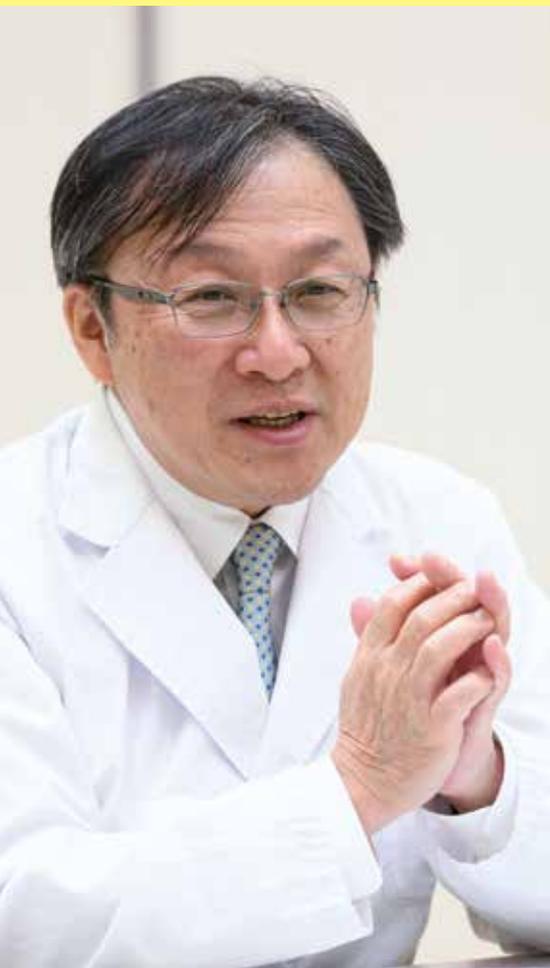
職場訪問 手術室

# 激動の一年から飛躍の年へ！ 救急医療体制構築への挑戦

新年あけましておめでとうございます。

2023年は5月に新潟市救急医療拠点病院に選定され、  
当院の未来が大きく変わる激動の一年となりました。  
ただし、「困っている人を助けたい」という  
当院の思いは変わりません。

今回は病院運営に関わる院長、看護部長、事務部長に、  
2023年の振り返りと新年の目標を伺いました。  
思いをついに、地域と連携した医療の充足を目指します。



院長 本間照  
HONMA Terasu

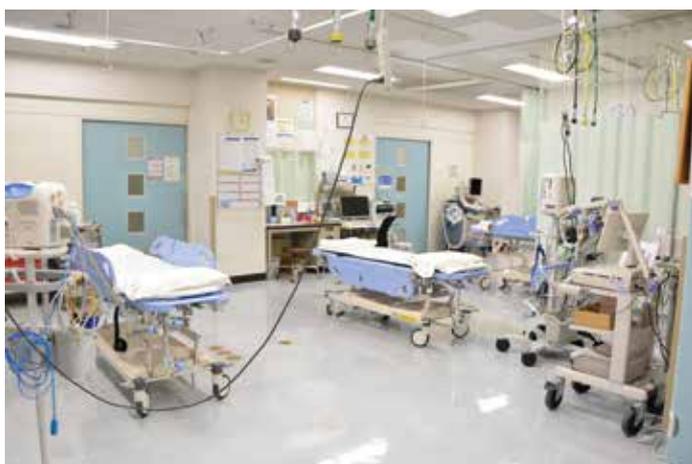
## 最近の業務

昨年は本当に沢山の出会いがありました。そしてそのすべてが、未知の可能性を拓き成長を促す魔法の瞬間でした。出逢いは、私たちの人生を豊かにし、心に深い足跡を刻んでくれる。出逢いは人生の宝物ですね。



## 救急外来処置エリアの改装工事について

昨年9月に救急外来の改装工事を実施。これまで以上に広々としたスペースになり、救急車の受け入れ台数も増やしています。





## 事務部長 阿部 健博 ABE Takehiro

### 最近の業務

昨年4月に着任。事務部門と事務職員を統括すると共に、院長を補佐しながら組織の調整役を担い、病院運営が円滑に行われるよう仕事に励んでいます。患者の皆さんに信頼され、安心して受診・入院していただける環境づくりと、職員全員が気持ちよく働ける職場づくりに取り組んでいます。

昨年11月に発表された「第37回新潟日報文学賞（詩部門）」を見事受賞された阿部事務部長。古本に挟まれていた絵はがきを題材にした詩により大賞を射止め、周囲を驚かせました。

## 看護部長 佐藤 志津子 SATO Sizuko

### 最近の業務

救急医療拠点病院の選定を受け、看護部一同、心を一つにして業務に当たることができるよう、システム作り、人材育成、業務の効率化に力を入れてきました。まだまだ途中ですが、急性期病院として救急車の受け入れに尽力しながら、患者さんに寄り添った看護、診療の補助業務、両方兼ね備えた看護師を育てることが私の仕事です。

救急車の受け入れ約3倍！  
見直される救急医療体制

—2023年は

どのような年になりましたか？

**本間院長** まず、何と言っても新潟市の救急医療拠点病院に選ばれたことが挙げられます。救急車の受け入れは、これまで年間2千500〜3千台でしたので、8千台を目指すとなるとさまざまな体制の構築、整備が必要です。済生会新潟病院は、新潟市西エリアだけでなく新潟市全体の病院の中でも、中核的な存在として、住民の皆さまに対し医療・福祉サービスを提供し続けて参りました。県内でもいち早く地域医療支援病院の承認を新潟県から受けています。職員スタッフの皆一人一人が奮闘し、昨年だけで救急車の受け入れ台数4千台を実現できたのは大きな成果です。一方、現場には非常に大きな負担がかかっており、今後どのように目標をクリアしていくのか。2024年は院内のチーム力が試される年になりそうです。

## 救急医療拠点病院の

役割とは？

**本問** 近年の人口構造の大きな変化に伴い、医療ニーズが変化してきており、それに対応するための医療機関の機能再編が求められています。昨年8月、9月に新型コロナウイルスが流行った時、救急搬送された方の多くは80〜90代の高齢の患者さんでした。感染症と共に糖尿病や脳卒中など持病をお持ちの方もたくさんおられます。入院ともなれば、認知症になるリスクは高く、こうした患者さんには、さまざまな専門知識や技術を総動員して治療にあたらなければなりません。5、6年先と予測していた少子高齢化の影響がもうやって来た、という印象です。救急対応をより一層強化していくことが、現在の当院が担うべき最大の役目です。

**佐藤看護部長** 昨年夏の新型コロナウイルス流行時はひっきりなしに救急車がやってきて、当院もすぐ満床になってしまいました。本来はより高度な三次救急を担わなければいけない新潟大学医学総合病院や新潟市民病院へも救急車が殺到し、いずれも大量の患者さんの対応に追われ、ついに病院機能が滞

る事態となり、あわや医療崩壊寸前の状態でした。

その対応策として、県医師会的主导で救急医療拠点病院を整備することを目的に、選定委員会が立ち上がりました。三次救急まで行かない、救急指定における2・5次救急状態の患者さんを、積極的に受け入れられるよう医療提供体制の変革を進めています。

### 〈救急指定病院について〉

- 一次救急／手術や入院を伴わない初期治療を行う
- 二次救急／手術や入院を伴う重症患者を受け入れる
- 三次救急／一次や二次では対応できない、生命に関わる重篤なケースに対応する

## 時代と共に変化した 医療・看護の新たな常識

——現代医療の課題は？

**本問** 医療の進歩は日進月歩で、そのスピードはさらに加速しています。私が医師になった時に比べて今の学生さんは30倍以上の勉強量が必要だそうです。それぞれ自分の専門分野を突き詰め、最先端の医療を人々に還元できる能力を身に付けていかなければなりません。こうした人材は重要です。しかし、より深く、より高く専門分化

が進んで行けば、従来は広がりを持つて支えていたものが、細分化された点として立ち上がるようになります。各専門分野はそれぞれが深く掘り下げられ、高度な専門性を有する一方で、他の領域との連携や共通の理解が難しくなります。これはあたかも広い面を10人で支えてきたものを、それぞれが点としての存在になり、同じ人数では元の広がりを支えられなくなるイメージです。

今こそ、包括的医療を実践する人材が求められています。全人的医療の必要性は以前から言われてきました。新潟大学でも「総合診療を専門とする医師」「臓器別専門医でも十分な総合診療能力をもって診療できる医師」の育成に力を入れることになりました。新たな潮流が生まれています。

——院内の体制で  
変えてきたことは？

**佐藤** 従来の看護体制とは異なるセル看護提供方式<sup>®</sup>を昨年4月から導入しました(下図)。

患者さんの高齢化が進むと、転倒やトイレの介助など、さまざま

### セル看護提供方式<sup>®</sup>のイメージ



福岡県・飯塚病院が開発した新しい看護方式。ナースワゴンに必要な物品を全て積み込むことでナースステーションとの行き来を省き、患者さんのそばでなるべく長い時間を過ごして看護を提供する。

な問題が付随します。そんな時、いかに看護師が患者さんに対して密度の濃いケアができるかが鍵になります。各看護師が病室にケアや看護記録、その他の業務に必要な物を全て載せたカートを持参するため、ナースステーションへ戻らず患者さんのそばで業務を行うことが可能となり、できる限り担当する患者さんのそばにいるという業務改善です。

導入当初はその方式のモデル病棟を設けましたが、今ではほぼ全病棟に導入しています。今後は入院患者さんの骨折予防など、患者さんの安全に貢献できたいと考えています。



当院は「新潟市新救急拠点整備・運営主体」です!

新潟市内における医療再編による新たな救急拠点の整備・運営主体の選定結果が昨年5月に発表され、当院が選定されました。新潟市内に年間 8,000台以上の救急車を受け入れる、新たな救急医療拠点病院を整備することを目的にしています。

「紹介受診重点医療機関」について教えてください

2023年から始まった「紹介受診重点医療機関」について教えてください

本間 今後は、外来患者さんが当院を受診される際は必ず紹介状が必要となります。これは限られた医療資源を、必要な患者さんへ確実に届けるための試みです。

風邪など軽度の体調不良は開業医やクリニックでご対応いただき、より病状に特化した検査や治療は当院が担当するという仕組みになります。この方式が進んでいけば、「外来患者さんでいっぱいなので救急車の受け入れが不可能」という状況を変えられると信じています。

阿部 段階的に救急車の受け入れ増を図っていくための体制構築と、しっかりとした経営基盤の強化でしょうか。病院を取り巻く経営環境は厳しいものがありますが、公約である救急拠点化の実現に向け、着実に歩みを進めるとも大

地域の健康を支える救急拠点病院を目指して

—— 新年の抱負を教えてください

佐藤 今年には救急車の受け入れ目標台数8千台に向けて、今まで以上に看護師の気持ちをついにしていきたいです。地域の人々の救急搬送をよりスムーズにできるように、当院が中心となって、使命を持って業務に当たりたいと思います。

阿部事務部長 今年4月から医師の時間外労働が原則として年間960時間に制限される、医師の働き方改革がスタートします。医師の働き方を見直し、心身の健康を維持しながら、患者の皆さんに良質な医療を提供していくことを目指します。このことが当院に期待される役割である救急車の受け入れにも役立つものと考えています。

阿部 社会貢献を一層進めていくことができるように、救急拠点の役割を果たせる病院にすること。そのためには、院内で働く人々が疲れ果てないようにする配慮が重要だと思います。

済生とは生を守り、済すくうこと。みんなで地域の健康を支え守っていくために、まずは自らが自身の病院を変革するとともに、周辺医療機関や施設などに積極的に働きかけ、手を取り合いながら、地域全体の変革を進めていきたいと考えています。

若い世代を教育するとともに、逆に我々も教わりながら新しいことへの対応力を付けていかなければなりません。よく言われることですが、できない理由を探すのではなく、どうやったらできるかを考える。ダメだと思っても、信じる心を共有することで、限界を超えられる時があるのです。(聞き手 松永春香)

阿部事務部長 今年4月から医師の時間外労働が原則として年間960時間に制限される、医師の働き方改革がスタートします。医師の働き方を見直し、心身の健康を維持しながら、患者の皆さんに良質な医療を提供していくことを目指します。このことが当院に期待される役割である救急車の受け入れにも役立つものと考えています。

阿部事務部長 今年4月から医師の時間外労働が原則として年間960時間に制限される、医師の働き方改革がスタートします。医師の働き方を見直し、心身の健康を維持しながら、患者の皆さんに良質な医療を提供していくことを目指します。このことが当院に期待される役割である救急車の受け入れにも役立つものと考えています。

# お餅で簡単ヘルシー

「今年こそはダイエットするぞ!」と、新年の抱負を誓った早々に、こたつでま〜ったりというお正月を過ごされたあなたへ。お正月に余ったお餅で、おなか満足のアレンジレシピのご紹介。ホワイトソースは小麦粉や牛乳、そしてバターを使わないため『低糖質』『低エネルギー』。今年も皆さんの体調管理に、このレシピコーナーをご活用いただければ幸いです。



## ● 1人分の栄養価

エネルギー	548kcal
たんぱく質	23.3g
脂質	32.4g
炭水化物	38.6g
食塩	2.3g

### このレシピの ポイント

- 具材は他にもシーフードやマカロニ、じゃがいも等のアレンジも自由
- お餅は冷えると固くなるため、熱々の内にお召し上がりください



謹賀  
新年

にんにくがかくし味  
なめらかソース

## 豆腐で ホワイトソース! お餅のグラタン

「クックパッド」に公開しているレシピをキッチンでどうぞ



【材料(2人分)】  
豆腐のホワイトソース

絹豆腐……………300g

おろしにんにく……………小さじ1/2

マヨネーズ……………小さじ2

チキンコンソメ……………小さじ1.5

切り餅……………2個

玉ねぎ……………100g

ブロッコリー・鶏もも肉……………各80g

油……………小さじ2

塩こしょう……………少々

ピザ用チーズ……………40g

パセリ(飾り用)……………少々

【作り方】

☆豆腐のホワイトソース

①豆腐はペーパータオルに包み、しばらく置いて水切りをしておく

②ボウルに全ての材料を入れ、泡立て器でなめらかになるまでよく混ぜる

☆お餅のグラタン

①切り餅を8等分に切り分ける

②ブロッコリーは小房に切り分け、玉ねぎは薄切りに、鶏もも肉は一口大に切る

③フライパンで②を炒め、軽く塩こしょうをふる

④耐熱皿に豆腐ホワイトソースの%量、①③を入れ、残りのソースをかける

⑤ピザ用チーズをのせてトースターで約5分。焼き色がついたら最後にお好みでパセリを散らして彩りよく♪



# Satisfaction Survey

2023年

## 入院患者さんにアンケート／ 病院の満足度について

前号の外来患者さんに引き続き、対象期間中に退院された患者さんからもたくさんのご意見をいただきました。前年時より「とても不満」の評価が少なくなっているようですが、ますます良い病院となるべく、改善に努めて参ります。アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございました。（サービス向上委員会）

**実施期間**

8月1日(火)～31日(木)

**対象者**

期間中に退院された患者さん

**回答数**

142 (前年比+28)



**総合評価**

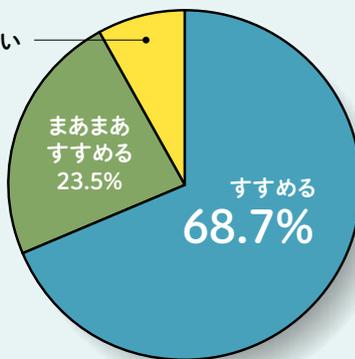
**質問**

親しい方にも  
済生会新潟病院を  
すすめようと思いますか？

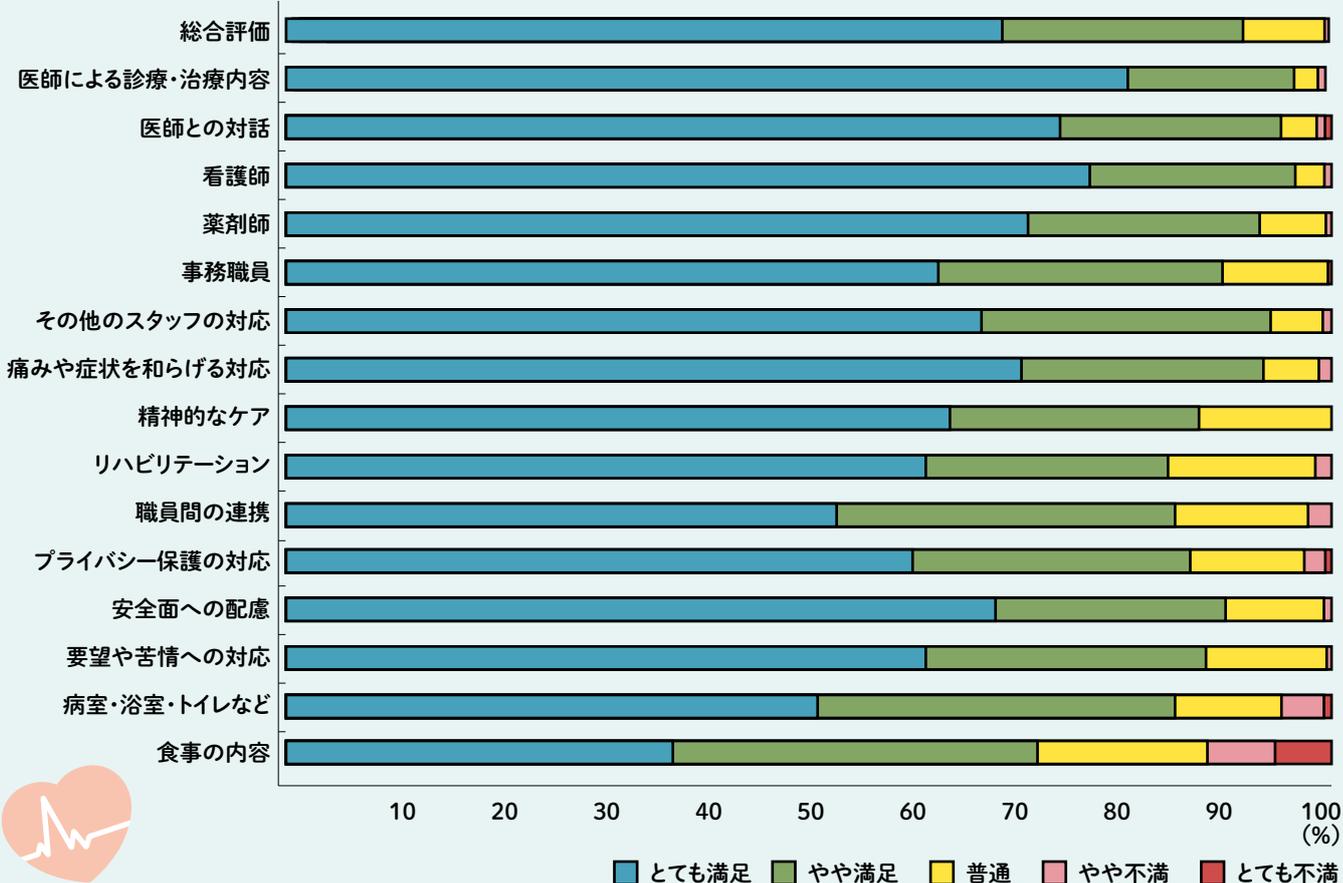
どちらとも言えない  
7.8%

まあまあ  
すすめる  
23.5%

すすめる  
68.7%



**全設問に対する割合**



# Reservation

新潟市救急医療拠点病院より

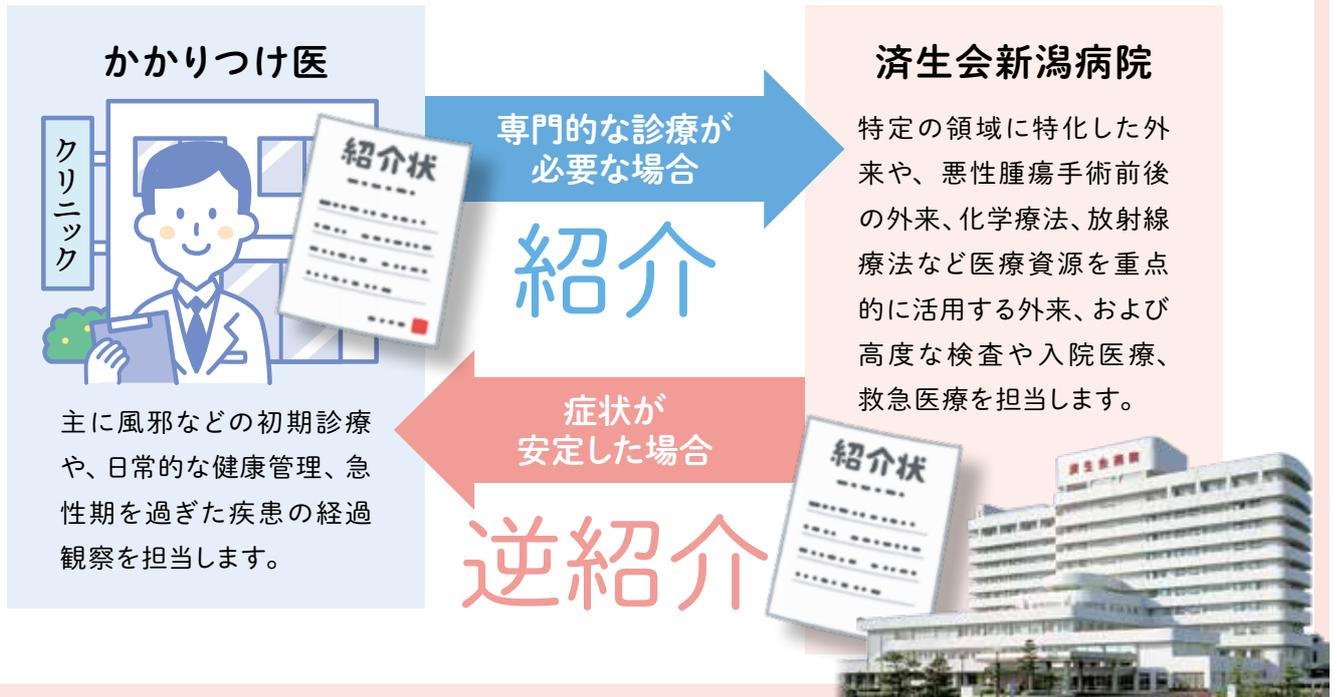
## 紹介患者さん「完全予約制」の導入

現在当院では新潟市救急医療拠点病院として、体制の整備に取り組んでおります。その一つとして「逆紹介」の推進による外来患者数のスリム化を進めている他、**2024年1月4日(木)から全診療科については『事前予約制』とさせていただきます。**

そのため、事前の紹介予約なしに紹介状を直接持参された患者さんにつきましては、**緊急の場合を除き原則として当院1階予約受付窓口で予約を取っていただき、後日受診**をしていただくこととなります。

皆様におかれましては、まずは診療所などのかかりつけ医へ受診をしていただき、かかりつけの医療機関から当院の地域医療連携室を通じて紹介状を元に予約を取らせていただきます。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

(済生会新潟病院 院長 本間 照)



**ON AIR** FM新潟 特別番組(全3回)

「医療の広場RADIO ～病院スペシャル～」に出演します!!

病院のスタッフと患者さんをつなぎ、ラジオリスナーさんに「病院のいま」を伝える番組です。是非お聴きください。

第1回目放送日

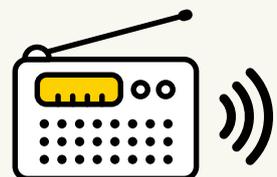
1月21日(日)  
19:00～19:55

第2回目(予定)

3月17日(日) 19:00～19:55

第3回目(予定)

5月19日(日) 19:00～19:55



## Report

## 「第6回 ご当地タニタごはんコンテスト」全国大会に出場



コンテストのテーマは、郷土料理の継承と共に、新しい地域の特産品として広く認知・普及させ、地域の活性化に結びつけるため、「タニタが考える健康的な食事の目安」に基づき、郷土料理を現代風にアレンジすること。

私たち栄養科チームは、新潟の郷土料理である「車

麩の煮物」を大胆アレンジした「車麩のカツ丼」、「かきあえなます」をサラダに、そして「いごねり」をデザートにアレンジしたレシピを考案。中部・甲信越ブロックの書類選考を勝ち抜き、11月19日（日）服部栄養専門学校で行われた全国大会に出場してきました。

北海道から鹿児島まで、全国7つの地区ブロックを勝ち抜いた全15チームが参加。試食だけでなく、応募動機、郷土料理の理解、アレンジ力などを各チームおそろいの衣装に身を包み、皆さん活発なプレゼンテーションを行っていました。

グランプリは逃しましたが、全国の郷土料理を知り、新潟の魅力を改めて考える機会となりました。なお、応募したレシピは、今後当院給食への提供の予定です。

（栄養科 治田 麻理子・稲月 弘子）



## Report

新潟日報主催

## 「福祉・介護・健康フェア」に出展参加



11月25日（土）産業振興センターで開催された、新潟日報主催「福祉・介護・健康フェア」に参加しました。セミナーや子ども職業体験やブースに出展し、お子様からお年寄りの方まで、たくさんの方にお越しいただき大盛況のまま無事に終わることが出来ました！

## ●代表して看護部からのご報告

「看護師のお仕事体験」では佐藤看護部長ら看護師4名で出展し、小学生約50名が参加してくれました。『あなたも看護師!』をテーマに、看護師のお仕事紹介の後「聴診器で呼吸の音を聞いてみる」「点滴を滴下してみる」「車いすを操作する」「赤ちゃんのお世話・

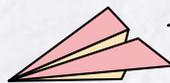
妊婦さんになってみる」の4つのブースを作りました。参加した子供達は当院の看護師ユニフォームを着用し、各ブースで楽しそうに笑顔で体験していました。参加後、子供達へ修了書と1ヶ月早いクリスマスプレゼントを渡し、可愛いピースサインをした笑顔で写真撮影を行いました。参加した子供達の中には、将来、看護師や医師になる夢をもつ子もいました。今回の体験が夢実現のお手伝いに繋がれば幸いです。

参加した私達も、地域の子供達との交流はとても喜ばしく、子供達の笑顔に癒され元気になれた一日でした。次回も心から皆様の参加をお待ちしております。

（看護部 石山 綾）



臨床工学技士 山際 優さん



済生会で新社会人として働くようになってから8カ月が過ぎました。働き始めた最初のころは、出来ないことやわからないことが多くありましたが、少しずつ日常の業務内容を覚えはじめ、自分の成長を感じる瞬間が春のころよりも増えてきました。

今後は今以上に知識と技術を身につけて、トラブルや急変時などの緊急時の対応を、先輩たちがどのように動いているのか見て学んで、自分の出来ることを増やしていきたいです。これからもっと多くの業務を行うことになり、2024年は今以上に勉強を行い、より多くの人とコミュニケーションを取りながら業務に携わって行きたいと思っています。



次号は

透析室 看護師 山口 朝美さんにバトンタッチ

透析室で一緒になることが多く、休憩室でたくさん話しかけてくれて相談にも乗ってくれたり、患者さんとのコミュニケーションも密に取っていたりと、一緒に仕事をすると、より楽しく仕事をすることができる先輩です。これからも宜しくお願いします。



不妊症看護認定看護師から  
ご存じですか？  
プレコンセプションケアのこと

プレコンセプションケアとは「妊娠前からの健康管理」のことを言い、若い男女を対象に将来の妊娠・出産や子育て、さらには年齢によるからだの変化に備えて正しい知識と生活習慣を身につけていくことです。将来の妊娠・出産に備えて意識して、健康に過ごすことが大事だと近年注目されています。

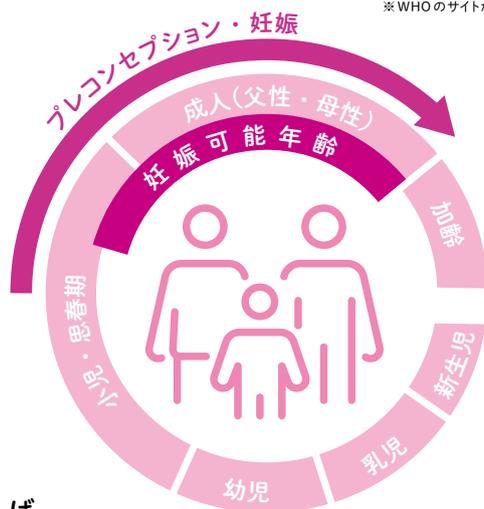
「若いから大丈夫」、「まだ先のこと」ではなく、健康でいるためにはどうしたらいいのか、心やからだと向き合う時間を作ってみませんか？

若い世代だけでなく、世代全体が健康な生活習慣を意識し、身につけることで自分や家族、次世代の子どもたちの健康へとつながっていくと思います。自分の心とからだを守り、健康でいるためには少しずつでも今できることから始めてみましょう！

(不妊症看護認定看護師 西潟 あゆみ)

生涯のうちのプレコンセプションケアの位置づけ

※ WHO のサイトから引用・改変



例えば…

- 健康のために今できていること、これからした方がよいことは何か、を考えてみる
- 将来の妊娠・出産のことを家族や親子・パートナーで話し合ってみる
- 右 QRコードからチェックシートを活用してみる



国立成育医療研究センターのプレコンセプションチェック



新潟市西区の西大通り沿い、小針西に内科・消化器内科を専門として2022年7月に開院いたしました西新潟ほんだ内科クリニックの本田博樹です。

済生会新潟病院には2013年に勤務した経験があり、現院長である本間先生にご指導頂いた思い出深い病院でもあります。

## Medical Partners

医療連携の頼れるパートナー

# 登録医訪問

内科・消化器内科

## 西新潟 ほんだ内科クリニック

西区

当院では細系スコープを用いた胃カメラや、大腸カメラ・日帰りポリープ切除術などを行っております。特に当院で行う大腸カメラは苦痛の少ない検査として皆様にご好評を頂いており、大腸がんの早期発見に力を入れています。

そのほかにも一般内科として高血圧症・脂質異常症・糖尿病など生活習慣病に対する治療も積極的にを行い、多くの患者様にご来院頂いております。また、緊急を要する疾患や詳しい検査が必要と考えられる際には、済生会新潟病院と連携してご紹介も可能です。

地域に必要とされるクリニックを目指して努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



医師名 本田 博樹(ほんだ ひろき)先生

住所 〒950-2014 新潟市西区小針西 2-12-15

電話 025-378-1800



受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
8:45 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	—
15:30 ~ 17:45	●	●	●	—	●	—	—

診療開始/午前 9:00 ~ 午後 15:30 ~ ※診療は 16 歳以上となります。



連携医療機関(登録医・病院)からのご紹介・ご予約について  
当院の**地域医療連携室**までご連絡ください。

TEL.025-233-6182(直通) FAX.025-231-5763

※平日 8:30 ~ 17:00 (土・日・祝日を除きます)

※患者さんからの予約はお取りしておりませんのでご了承ください。

## Workplace visit

院内で頑張るスタッフがざらり

# 職場訪問

## 手術室

突然ですが「手術室」というと、どのような印象を持たれますか? 「できれば入りたくない、怖い、緊張することや分からないことがたくさんあると思います。」

当院の手術室はというとA棟3階にあり、全8部屋。心臓血管外科・循環器科・消化器外科・整形外科・産婦人科・耳鼻科・泌尿器科・腎臓内科・眼科・形成外科の手術に対応しています。麻酔科医7名、看護師29名、手術に携わる各科の医師、臨床工学技士、放射線技師、洗浄・滅菌等の業務を担当する職員が協力して働いており、1日約20件前後の手術をしています。

手術室内では全員が帽子とマスクをしているため、目しか見えず冷たい印象を持ち

たれることはありませんが、そんなことはありません! 不安を抱えて手術室に来られる患者さんが、少しでも安心し、安全に手術を終えて帰られるよう、優しさとお上心を持って仕事に取り組んでいます。

私たちスタッフは「患者さんの安全は私たちが守ります、患者さんの安心は私たちが作ります」を合言葉に一丸となり、患者さんをお待ちしております。不安なこと、気になることがあれば、遠慮なくお尋ねください。

(看護師主任 平野宏美)





こころ 躍る  
毎日を。



ただ今「新型コロナウイルス感染拡大防止」のため、チラシ・イベント等の予定を変更させていただくがございます。  
詳しくは店内ポスター・ホームページ等でご確認ください。

毎週火曜日は火曜特売!!

UCSカード・majica会員さま



毎月 9日 19日 29日  
**5%OFF**

UCSカード・majicaで全額お支払いください

※一部商品を除きます。※専門店は各店にてご確認ください。  
※一部店舗では実施しておりません。

毎月 15日・16日 60歳以上の方限定!!

レジにて/  
ハッピー  
パスポートの  
ご提示で **10%OFF**



衣料品 (インナー・靴・服飾雑貨含む)	キッチン・リビング用品 (日用消耗品は除外)	寝具 インテリア用品
医薬品 (調剤は除外)	介護用品 (介護オムツは除外)	文具・玩具・ファンシー (TVゲーム関連は除外)

- 60歳以上で、パスポートにご署名されたご本人のみご利用いただけます。
- 1枚で毎月ハッピーデー当日のみ、アピタでご利用いただけます。
- 対象商品の取り扱いのあるアピタ店舗にてご利用いただけます。一部除外商品がございます。
- 修理・加工代・送料は対象外です。
- 他の割引・円引き企画をご利用いただく場合、割引率の高い方での割引となります。

発行手数料  
**無料**

年齢確認できるもの(免許証等)をご提示ください。

アピタ新潟西店 新潟市西区小新5丁目7番21号 **お客様専用ナビダイヤル** ☎0570-009608

## 予防医療センターのご案内

「治療」から「予防」へ 予防医療の実現を目指します

健診  
内容

- 人間ドック
- 脳ドック
- 肺ドック
- 生活習慣病予防健診
- 特定健康診査
- 新潟市がん検診
- 個人健診
- 各種単独検査 等

詳しい内容についてはこちらの  
QRコードからホームページでご確認ください



B棟2階 予防医療センター

☎ **025-233-6669** (直通)

予防医療センター受付時間 平日9:30 ~ 11:00  
お電話でのお問い合わせ時間 平日9:00 ~ 16:30

地域医療支援病院 臨床研修病院 災害拠点病院 赤ちゃんにやさしい病院



社会福祉法人 恩賜財団 済生会 **済生会新潟病院**

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地 280-7  
TEL.025-233-6161(代) FAX.025-233-8880

こちらも  
注目



済生会新潟病院の  
Facebook 好評稼働中!

なでしこチアーズ  
**Cheers!**

当院 HP よりバックナンバーもご覧いただけます。

医療連携機関マップ  
<http://saiseikaidaini-renkei.jp>



病院ホームページ  
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>

